2011 年 10 月 28 日

野村不動産ホールディングス株式会社

（コード番号：3231　東証第一部）

報道関係者各位

2012年３月期第２四半期連結決算のお知らせ

野村不動産ホールディングス株式会社（本社：東京都新宿区　取締役社長：中井　加明三）は、本日、2012年３月期第２四半期連結決算（2011年４月１日～2011年９月30日）を確定いたしましたので、お知らせいたします。なお、詳細については、「平成24年３月期　第２四半期決算短信」を併せてご参照下さい。

＜ハイライト＞

■2012年３月期第２四半期における連結業績は、売上高が1,514億円（前年同期比2.6％増）、営業利益が182億円（同77.1％増）、経常利益が109億円（同313.2％増）、四半期純利益が50億円（前年同期は37百万円）となりました。これは主に、住宅分譲事業において販売が順調に進捗したことに加え、昨年９月に持分を追加取得した「東芝ビルディング」等の収益が寄与したビル賃貸事業の業績が伸長したこと等に因るものです。

■住宅事業セグメント・・・住宅分譲部門では、マンションと一戸建てを併せた売上計上（引渡）戸数が前年同期比で42戸増の961戸となったことに加え、利益率が大幅に改善しました。また、東日本大震災の影響が当初の想定を下回り、販売及び建築工事が順調に進捗していることから、通期の売上計上予定戸数を当初計画の3,500戸から4,000戸に上方修正いたします。なお、９月末時点における上方修正後の売上計上予定戸数に対する契約進捗率は87.9％となりました。

■ビル事業セグメント・・・昨年９月に持分を追加取得した「東芝ビルディング」や、同10月より新規稼動した「日本橋室町野村ビル」の収益が寄与したこと等により、業績が伸長しました。なお、９月末時点の空室率は3.4％となり、３月末から0.6ポイント改善いたしました。

■資産運用開発事業セグメント・・・収益不動産の売却額が前年同期の実績を下回り、若干の減収となりました。一方、今期売却予定の収益不動産の一部につき、たな卸資産評価損を計上しましたが、前期に計上した営業エクイティ評価損がなくなることに加え、一部の私募ファンドにおける物件売却に伴うエクイティ配当収益を計上したこと等により、増益となりました。

■通期業績予想の変更・・・現時点までの進捗状況と今後の見通しを勘案し、売上高及び各利益の通期業績予想を変更いたします。売上高は、従前予想に比べ480億円増（12.3％増）の4,380億円、営業利益は40億円増（9.1％増）の480億円、経常利益は40億円増（14.3％増）の320億円、当期純利益は20億円増（15.4％増）の150億円に修正いたします。なお、通期の業績予想の変更に関しては、本日公表の「業績予想に修正に関するお知らせ」を併せてご参照下さい。

以　上

（添付資料）

平成24年３月期　第２四半期決算短信

2012年３月期第２四半期決算短信補足資料

本件に関するお問い合わせ窓口

野村不動産ホールディングス株式会社　広報IR部（石川・平野）

TEL03－3348－8117 ・ FAX03－3343－0445